

EARTH ECO MAIL MAGAZINE

アース・エコ メールマガジン

アース・エコ会員の皆様と、日頃からアース・エコの活動にご理解、ご支援をいただいている会員外の皆様にあース・エコの活動をお知らせするため、不定期にメールマガジンをお届けしています。

アース・エコのメールマガジンは、2010年4月5日清明に第1号を発行して以来16年が経過しました。コロナ前の2019年までは毎年二十四節季に合わせて年24回の定期発行、2020年以降はアース・エコの活動に合わせて不定期に発行し、紙面のスタイルも変えながら、今号で通算326号に到達しました。

この度、アース・エコの活動見直しに伴い、今号を最後にアース・エコメールマガジンの発行を終了いたします。活動報告や活動予定は引き続きアース・エコのホームページに掲載しますので、そちらをご覧ください。

アース・エコ ホームページ <https://npo-earth-eco.com/> (QRコードは末尾に掲載)

メールマガジンを長期間お読みいただき、皆様に深く感謝いたします。ありがとうございました。



2010年4月5日 第1号発行



2018年7月23日通算200号



2024年5月5日通算300号

令和7年度の活動を振り返る

令和7年度(2025年4月~2026年3月)に計画した活動は3月例会を残すのみとなりました。今年度の活動を振り返り、成果と特徴をまとめます。

● 特筆すべき事項

会員の高齢化の影響による活動の質の低下を防ぐため、様々なリスクを想定し、対策を実施に移しました。活動件数が増えるともリスク増大につながる可能性があるため、従来から継続して実施してきた出前授業などの活動

に重点を置き、新たな活動を増やすための努力は行わないこととしました。

今年度の出前授業の実施件数は前年度の半分以下です。コロナの影響で出前授業の実施が激減した令和2年度に次ぎ、最近では少ない件数でした。学校では教員の「働き方改革」として様々な取り組みが実施に移されているようで、これが小学校からの授業依頼が減っている要因のひとつではないかと思えます。

● 学校出前授業

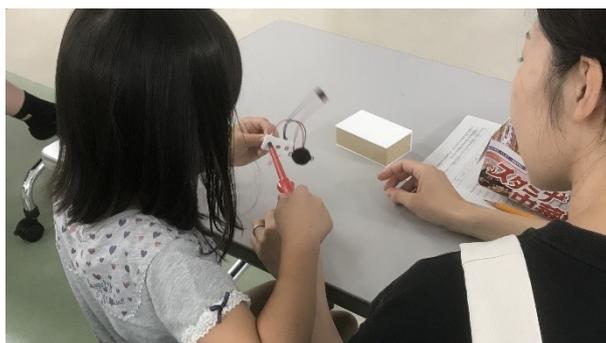
神奈川県「かながわ環境教室」や県立産業技術総合研究所(KISTEC)の「なるほど! 体験出前教室」を小学校6校で実施しました。実施日数は延べ6日、授業回数は13回、対象児童数は延べ357名、講師・スタッフとして参加したメンバーは延べ43名(1日平均7.2名)でした。中止や日程変更した学校はありませんでした。



今年度実施した小学校での出前授業の様子

● 地域環境学習

横浜市、相模原市と大磯町の公共施設等4か所で、親子や小学生を対象とする工作教室を4日、4回開催しました。対象人数は延べ78名、講師・スタッフとして参加したメンバーは延べ21名(1日平均5.3名)でした。



相模原市中央区内の公共施設で開催した工作教室

● 普及啓発

アース・エコが単独でイベントに参加する活動はありませんでしたが、アーススクールさがみはらのイベント出展に協力・参加しました。

● 自己研鑽

勉強会は、これから開催する3月例会・合同勉強会を除き、対面+オンラインのハイブリッド、またはオンラインで毎月1回、計11回開催しました。毎回会員9~19名が参加し、相互啓発や意見交換をおこないました。会員からの報告・発表は16件でした。合同勉強会は環境学習リーダー会エネルギー部会との共同開催です。



フクシア団体交流室で開催した例会

● まとめ

今年度の活動日数は3月例会の開催を含めると22日です。昨年度は35日だったのと比較すると、ほぼ3分の2でした。活動件数は減少しましたが、実施した個々の活動では従来通りの質を維持することができたと考えます。皆様のご協力、ご支援の賜物と感謝しています。来年度も引き続きご理解、ご協力をお願いいたします。 [桑原]

2月例会を開催



2月25日(水)、オンライン(Google meet)主体+会議室(ユニコムプラザ)で2月例会を開催しました。参加したのはアース・エコ会員7名(うち会議室参加者2名)と、オブザーバー5名の計13名でした。

2月理事会からの報告

報告は特にありませんでした。協議事項は、引き続き電子メールの交換により協議、承認を行います。

2月例会

- 2月に実施した出前授業1件について実施結果の報告がありました。
- 1月に実施した出前授業のアンケート集計の報告がありました。
- 2025年12月に実施した出前授業を実施した小学校で2月に開催された校内イベントについて、報告がありました。

合同勉強会

大規模言語モデル

日本の大手企業が開発した、AI技術を活用してソフトウェア開発の大部分を完全自動化する、画期的な技術の紹介がありました。特に、開発済みソフトの改修が必要になった時に、AI技術を用いて自動改修することで作業期間を大幅短縮し、生産性を100倍向上できるそうで、ソフト開発の分野での人材不足に対する解決策として期待されているようです。ソフト開発には馴染の少ない私たちには理解が難しいテーマですが、AI活用によるソフト開発によって更にソフトウェアのブラックボックス化が進むのではないかと、心配です。



合同勉強会に参加した皆さん (meet の画面から)

これからの活動予定

令和7年度に予定した活動は全て完了しました。令和8年度の活動予定については決まり次第、アース・エコのホームページに掲載しますので、そちらをご覧ください。

3月例会・合同勉強会

3月25日(水)に会議室(フクシア団体交流室)主体+オンライン(meet)での開催を予定しています。開催の詳細、オンラインでの参加方法等は会員の皆様には後日メールでお知らせします。詳しくは事務局までお問い合わせください。

アース・エコは地球温暖化防止活動に取り組むボランティア団体です

会員外の皆さんも、例会・勉強会やほとんどの活動を見学できます。

お問い合わせ、お申込み、メルマガ配信希望・配信中止のご連絡は

メール earth.eco.jimukyoku@gmail.com

ホームページ <https://npo-earth-eco.com/>

ホームページ



地球温暖化やボランティア活動に関心のある方 **私たちと一緒に活動しませんか？**

Copyright©2026 特定非営利活動法人アース・エコ